

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
工業情報数理	工業情報数理（実教出版）	2	工業化学科・1年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1. 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。 2. 情報技術に関する知識と技術を習得する。 3. 工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用して、協働で問題を解決する能力を身につける。 4. 計算技術検定3級・情報技術検定3級の合格を目指す。
---------	--

2 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査
1 学期	1章 産業社会と情報技術 情報化社会のモラルと管理 情報セキュリティの管理 問題の発見・解決と情報技術の活用 2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア コンピュータの基本操作 ソフトウェアの基礎・アプリケーションソフトウェア	4	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会におけるコンピュータの役割と意義について理解する。 情報社会で守るべきモラルや知的財産権・プライバシーの保護の重要性を理解する。 コンピュータの基本構造や基本的な操作について理解する。 ソフトウェアの基礎知識を理解し、文書処理、表計算などの基本操作を身につける 	中間
		5		
		6		期末
		7		
2 学期	3章 プログラミング プログラム言語 プログラムの作り方 アルゴリズムと流れ図	8	<ul style="list-style-type: none"> プログラミングに必要な言語の基本を学ぶ。 用途に応じたプログラム言語の違いやプログラミングに必要な考え方を身につける。 処理装置と周辺装置を理解する。 	中間
		9		
		10		期末
		11		
		12		
3 学期	4章 ハードウェア 処理装置と周辺装置 データの表し方 論理回路の基礎 5章 ネットワーク コンピュータネットワーク	1	<ul style="list-style-type: none"> データの表し方を理解し、論理回路の基礎を学ぶ。 データ伝送の基礎、ネットワーク、インターネットに関する知識を得る。 情報技術の活用についての知識を得る。 	学年末
		2		
		3		

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技術を身につけている。	諸問題の解決をめざして自ら思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。	情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業中に実施する小テストや定期考査、家庭学習課題等で総合的に評価する。	授業中に実施する小テストや定期考査、家庭学習等の記述内容や発表内容及びレポートや班別活動、プレゼン内容等で総合的に評価する。	振り返りシートの内容や自己評価及び相互評価等で総合的に評価する。

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

授業は基本的に教科書に沿って行うが、計算技術検定や情報技術検定を受検するために基本的な電卓操作やプログラミングの基礎を学ぶためにプリントも活用するなど、補足しながら進める。板書の内容を丁寧にノートに整理するなど、分かりやすいノートづくりやプリントの整理を心掛けること。